

| | | | |
|----------------|------|-----|------|
| 教材リサーチⅡ | 担当教員 | 単位数 | 履修方法 |
| | 久世 均 | 2 | T |

I はじめに

最近の情報技術等の進展に伴い、多様な学習者に対応した多方向から撮影した教材化の開発がなされてきた。また、高品位で大容量の記録も安価で可能になり、また大容量記憶装置や高速ネットワークが急速に進み、映像教材も高品位で大容量の配信が可能になった。従来の学習教材の撮影方法や記録方法は、単方向からの撮影・記録が主なものであり、撮影方向には教材作成者の撮影意図が多く反映されていた。

今後、多様な学習者に対応した映像の教材化を考えると、これまでの単方向を主として撮影・記録されてきたものから、多様な視点で教材を提示することが必要となる。そこで、本研究は、学習教材を多方向同時撮影することにより多視点映像として教材化し、多視点映像教材の教育利用・研究での課題について考える。

II 授業の目的・ねらい

- ・この授業は全15講に分かれて論述している。各講における参考文献並びに関連情報は、横のQRコードで示してある。各講においてこれらの参考文献などを読み込んで発展的な学修ができるように構成されている。
- ・各講の最後に研究課題が設定されており、個別で学修する場合にも、集団で学修する場合においても学修を深めるために主体的に研究課題を考えることが重要である。
- ・多視点映像教材の開発を主体的に探求し、深化させ課題の本質を探り教材作成手法を導き出すための手法を研究する。

III 授業の教育目標

学習教材を選定・開発するに当たっては、多視点映像教材の活用により児童生徒が自ら考えることができるようにするなどの教育効果を高めるため、身近な事柄を取り上げたり、児童生徒の興味・関心等を生かしたりするなどの教材作成を行う。なお、学習教材の選定・開発に際しては、児童生徒の発達段階を十分考慮すると共に、その内容を公正な観点から吟味する。さらに、例えば身近な事柄を取り上げる場合など教材の内容によっては、プライバシーの保護等にも十分配慮することを理解する。

第1講 多視点映像教材と複眼的思考法

1. 何を学ぶか

学習教材を多方向同時撮影することにより多視点映像として教材化し、多視点映像教材の教育利用・研究での課題について考える。

2. 学修到達目標

- ・多視点映像教材について説明できる。
- ・多視点映像教材の教育利用について具体例を示して説明できる。
- ・多視点映像教材と複眼的思考法との関係について説明できる。

3. 課題

1. 多視点映像教材についてその効果と可能性について説明しなさい。
2. 多視点映像教材の教育利用について、具体例を挙げて説明しなさい。
3. 多視点映像教材を具体的に企画しなさい。
4. 複眼的思考法と多視点映像教材の関係について具体例を挙げて説明しなさい。

第2講 多視点映像教材と教えて考えさせる授業

1. 何を学ぶか

理科実験の学習で、児童が理科の実験方法を身につけるための支援として、児童・教師が簡単に操作でき、必要

な部分を繰り返し見ることができる理科実験のデジタルコンテンツを考える。

2. 学修到達目標

- ・小学校の理科における多視点映像教材の活用について説明できる。
- ・理科実験の学習における学習展開について具体的に説明できる。
- ・教えて考えさせる授業の学習展開について具体例を挙げて説明できる。

3. 課題

1. 多視点映像教材の理科への活用についてその効果と可能性について説明しなさい。
2. 理科実験の学習における学習展開について具体的に説明しなさい。
3. 教えて考えさせる授業の学習展開について具体的に指導案を作成しなさい。

第3講 表示映像の違いは理解度に影響を与えるか

1. 何を学ぶか

高山での遠隔親子教室を例に表示視点の違いが理解度に与える影響に関する調査をしたので、この調査結果の分析と今後の課題について考える。

2. 学修到達目標

- ・表示映像の違いが理解度に与える影響について説明できる。
- ・遠隔学習における多視点映像の効果について具体的に説明できる。

3. 課題

1. 表示映像の違いが理解度に与える影響について具体例を挙げて説明しなさい。
2. 遠隔学習における多視点映像の効果について具体的に説明しなさい。
3. 遠隔学習における多視点映像を配信する効果について具体的に説明しなさい。

第4講 多視点映像教材による主体的な学習の支援

1. 何を学ぶか

小学校における器械運動の学習で、児童が自己の能力に適した技を選んで主体的に身につけるための支援として、児童・教師が簡単に操作でき、必要な部分を繰り返し見ることができる模範演技のデジタルコンテンツを考える。

2. 学修到達目標

- ・小学校の器械体操における多視点映像教材の効果について説明できる。
- ・主体的な学習と多視点映像教材との関係について説明できる。

3. 課題

1. 小学校の器械体操における多視点映像教材の効果について具体的に説明しなさい。
2. 主体的な学習と多視点映像教材との関係について具体的に説明しなさい。
3. 個別最適な学びにおける多視点映像の効果について具体例を挙げて説明しなさい。

第5講 伝統と文化の視点を考える

1. 何を学ぶか

地域の伝統文化に関する“知”の伝承サイクルを支援するためのデジタルアーカイブの技術的考察を沖縄の「獅子舞・エイサー」を例にして考える。

2. 学修到達目標

- ・伝統文化教材の作成に関する視点を説明できる。
- ・伝統文化の多視点映像教材の作成手順を説明できる。

3. 課題

1. 伝統文化教材の作成に関する視点を具体的に説明しなさい。
2. 伝統文化の多視点映像教材の作成手順を作成しなさい。
3. 地域の伝統文化を教材化した指導案を作成しなさい。

第6講 授業技術の対象化とデジタルアーカイブ

1. 何を学ぶか

多視点映像教材を用いた授業や自己学習教材としての利用方法等の総合的な教材化の開発が、多様な学習者に対応した映像の教材化の開発として重要である。そこで、多視点映像の授業技術の対象化について考える。

2. 学修到達目標

- ・授業技術の対象化とは何か説明できる。
- ・授業実践を多視点で撮影する利点について説明できる。

3. 課題

1. 実践的な教師力とは何か説明しなさい。
2. 授業実践を多視点で撮影する利点について説明しなさい。
3. 授業実践を多視点で撮影する企画書作成しなさい。
4. 授業技術の対象化とは何か説明しなさい。

第7講 「伝統」と「文化」の同時代性と創造

1. 何を学ぶか

地域の伝統と文化に関する“知”の伝承サイクルを支援するために、沖縄の伝統と文化に関して、我が国の政策を整理し、「伝統と文化」を教育に取り入れる必要性について考える。

2. 学修到達目標

- ・学校教育における伝統と文化について説明できる。
- ・伝統と文化教育の歴史について説明できる。

3. 課題

1. 学校教育における伝統と文化について具体的に説明しなさい。
2. 伝統と文化教育の歴史についてについて具体例を挙げながら説明しなさい。
3. 学校で「伝統と文化」の教育を行うために必要と思われる教材を考えて一覧表を作成しなさい。

第8講 「できる授業」と「わかる授業」

1. 何を学ぶか

体育（本研究では器械運動）の指導で活用する上で大切なことは、児童に「お手本」を示す際、技能のポイントなどがわかりやすい資料（映像）を提示できるか、児童が運動に対してより理解を深め、仲間とともに課題解決に向けて主体的に取り組んでいくときに、ICTを活用できるような環境を整えて指導ができるかということを考える。

2. 学修到達目標

- ・体育教科におけるICT活用について具体的な事例を挙げて説明できる。
- ・体育における教材について企画し設計できる。

3. 課題

1. 体育教科における ICT 活用について具体的な事例を挙げて説明しなさい。
2. 体育における教材について企画し設計しなさい。
3. 自分で自分のフォームを撮影し、主体的に学ぶという指導案を作成しなさい。

第9講 複眼的思考法により主体的な学習を伸ばす

1. 何を学ぶか

見たい視点を自分で選択でき、横や正面等自分では客観視することのできない視点からの映像を見ることで、跳び方のイメージを持つことが容易になり、主体的に跳び箱学習を楽しむことができるようになることについて考える。

2. 学修到達目標

- ・主体的な学習態度を育てることについて具体的に例を挙げて説明できる。
- ・主体的な学習態度を育成するために、どのように多視点教材を活用すればよいか説明できる。

3. 課題

1. 主体的な学習態度を育てることについて具体的に例を挙げて説明しなさい。
2. 主体的な学習態度を育成するために、どのように多視点教材を活用すればよいか説明しなさい。
3. 主体的な学習態度を育成するための教材活用事例を作成しなさい。

第10講 教えて考えさせる授業の展開

1. 何を学ぶか

小学校理科における児童の多視点映像教材を活用した実験支援方法に関する研究を通じて、教えて考えさせる授業の展開について考える。

2. 学修到達目標

- ・多視点映像教材の処理方法について順を追って説明できる。
- ・多視点映像教材を使った“教えて考えさせる授業”への展開について説明できる。

3. 課題

1. 多視点映像教材の処理方法について順を追って説明しなさい。
2. 多視点映像教材を使った教えて考えさせる授業への展開について説明しなさい。
3. マルチアングル映像と多視点映像の違いと特徴を説明しなさい。

第11講 単視点映像と多視点映像の違いを考える

1. 何を学ぶか

小学校教育においては、授業は担任の教師が全ての科目を担当している。つまり教師の専門外の科目でも教えなければならない。専門家でなくても授業を円滑に進めることが大変重視される。そこで誰でも簡単に操作ができ、尚且つ授業を進めるうえでの手助けとなる書写の授業のための教材開発を考える。

2. 学修到達目標

- ・書写教育における多視点映像の必要性について説明できる。
- ・書写教育においてどこからの視点が効果的か説明できる。

3. 課題

1. 書写教育における多視点映像の必要性について具体例を挙げて説明しなさい。
2. 書写教育においてどこからの視点が効果的かを具体的に説明しなさい。

3. 書写教育における多視点映像教材の企画書を作成しなさい。

第12講 授業をデジタルアーカイブする

1. 何を学ぶか

日本の授業のみならず具体的に諸外国の授業をアーカイブ化し、長期保存を考えデジタルアーカイブ手法による関連教育資料の構成について考える。

2. 学修到達目標

- ・授業分析に必要な教育資料の構成について説明できる。
- ・授業分析手法について具体的に説明できる。

3. 課題

1. 授業分析に必要な教育資料の構成について具体例を挙げて説明しなさい。
2. 授業分析手法について具体的に説明しなさい。
3. 英国の授業分析を右の授業アーカイブプロジェクトの例に倣って、行ってみなさい。

第13講 多視点映像教材の流通を考える

1. 何を学ぶか

多様な学習者に対応した映像の教材化を考えると、これまでの単方向を主として撮影・記録されてきたものから、多様な視点で教材を提示・流通することを考える。

2. 学修到達目標

- ・多視点映像教材の教育利用とその効果について説明できる。
- ・単視点と多視点の映像教材の違いについて説明できる。
- ・多視点映像教材の有効的な流通方法について説明できる。

3. 課題

1. 多視点映像教材の教育利用とその効果について具体的な例を挙げて説明しなさい。
2. 単視点と多視点を比較し映像教材の違いについて説明しなさい。
3. 多視点映像教材とするとよい教育の対象を説明し、多視点映像教材の企画書を作成しなさい。
4. 多視点映像教材の有効的な流通方法について説明しなさい。

第14講 遠隔学習における多視点映像の評価法

1. 何を学ぶか

高山での遠隔親子教室を例にアンケートを実施したので、このアンケート結果の分析と今後の課題について考える。

2. 学修到達目標

- ・遠隔学習において動く紙おもちゃのどの視点を配信するとよいか、その学習シーンを想定して説明できる。
- ・目的に対応したアンケート調査用紙を作成できる。

3. 課題

1. 遠隔学習において動く紙おもちゃのどの視点を配信するとよいか、その学習シーンを想定して設計しなさい。
2. 遠隔学習における学習効果のアンケート調査用紙を作成しなさい。
3. 遠隔学習において教師はどのようなことに配慮して指導することが必要か具体的に説明しなさい。

第15講 多視点映像で変える授業

1. 何を学ぶか

岐阜と沖縄の親子教室で、親子を対象に意識調査を実施したので、この意識調査の結果の分析と今後の課題について考える。

2. 学修到達目標

- ・意識調査の必要性について説明できる。
- ・子どもを対象にした調査の留意点について説明できる。

3. 課題

1. 意識調査の必要性について具体的に説明しなさい。
2. 子どもを対象にした調査の留意点について具体例を挙げて説明しなさい。

第16講 コミュニケーションを可視化する

1. 何を学ぶか

このような活動を教育として適用するためには、活動についての親子の状況を調査し、親子の共同学習として、どのような指導方法、展開をさせるか検討する必要がある。そこで、この「動く紙おもちゃ作り」の教材化と意識の調査を考える。

2. 学修到達目標

- ・コミュニケーションの定義について説明できる。
- ・コミュニケーションを促す講座の設計について説明できる。

3. 課題

1. コミュニケーションの定義について説明しなさい。
2. コミュニケーションを促す講座を設計しなさい。
3. コミュニケーションに関する独自の調査用紙を作成しなさい。

第17講 コミュニケーションを分析する

1. 何を学ぶか

講師の提示と親子のコミュニケーションによる直接・間接的影響について量的分析を考える。

2. 学修到達目標

- ・フランダースの相互分析カテゴリーシステムについて説明できる。
- ・コミュニケーションを可視化する方法について説明できる。

3. 課題

1. フランダースの相互分析カテゴリーシステムについて説明しなさい。
2. コミュニケーションを可視化する方法について具体的に説明しなさい。
3. コミュニケーション分析を実際に行ってみなさい。

IV レポート課題

| | |
|-----|---|
| 課題1 | 第1から第8講の中で、興味を持った研究課題についてさらに詳しく調べA4用紙1ページにまとめよ。 |
| 課題2 | 第9から第17講の中で、興味を持った研究課題についてさらに詳しく調べA4用紙1ページにまとめてよ。 |

V アドバイス

| | |
|---------|------------------------|
| 課題 1 解説 | テキスト並びに参考文献を参考に論述しなさい。 |
| 課題 2 解説 | テキスト並びに参考文献を参考に論述しなさい。 |

VI 科目修得試験：レポート試験

VII テキスト

久世均著：教材リサーチⅡ 岐阜女子大学 2021

VIII 参考文献

主にテキストの中に記してある文献が参考になります。